

進捗状況

1.ガバナンスの改革と推進

- 従来のコンプライアンス教育に加えて、コミュニケーション強化のため、実効性を高めた意見交換会を実施(1.(1)-b, 1.(4)-b)
- トップメッセージの配信など、頻度・質を強化した従業員へのメッセージ発信を継続的に実施(1.(3)-a)

2.リスク管理体制の強化

- 2022年3月期のリスク調査シートの活動で認識された各リスクへの対策のうち、改善の余地のあるものについて改善施策の検討を実施。今後、更なる課題の有無を確認し、課題が検出された場合には、2023年3月末までに改善を実施予定(2.(2)-b)

3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化

- 業務執行体制強化のための部門間情報共有についても、D1/D1.5/D2合同での各種定期ミーティングを継続して実施(3.(1)-a, 3.(2)-a)

4.監査体制の抜本的な見直し

- 2023年3月期J-SOX内部統制評価計画に従い、統制文書の更新を実施し、整備評価を開始(4.(3)-a)
- 引き続き、組織別内部監査を実施中(4.(1)-b)
- 社外取締役(常勤監査等委員)が社内取締役との意見交換会を定期的実施。監査等委員以外の社外取締役もオブザーバーとして参加可能とした(4.(4)-a)

5.従業員の声を集める仕組み

- グループ会社共通の窓口で、匿名でも双方向のコミュニケーションを可能とする「内部通報プラットフォーム」を導入し、その目的・必要性について周知および教育を実施(5.(1)-a)
- 第三者を窓口とする目安箱について、投稿された声を踏まえた改善活動を推進中(5.(2)-a)

6.組織文化の改革・形成

- ビジョンブックの活用に向けた補完ツールの作成に着手、またビジョンウィーク期間中のコンテンツについて検討を開始(6.(2)-b/c/d)
- 社内イントラネットへ新理念体系を踏まえた行動宣言を記載し、上司と個別面談(One On One)を開始(6.(2)-e)

7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙

- 2022年度上期の会計リテラシー向上・会計知識教育STEP2を役職に応じた内容で役員含む全社員に実施(7.(1)-a)
- 失敗事例からの学びに関する業務ルール説明会やワークショップ、失敗事例の共有を実施(7.(3)-a)

8.モニタリング体制の継続

- 「ガバナンス・企業文化諮問委員会」によるモニタリング対象の取組みの一環として、社員の意見のヒアリングを踏まえた、再発防止策の実効性強化につながる業務改善提案を実施(8.(1)-a)